

農業冬期基本調査に見る

市民の最大の幸福を実現しうるには、市が如何なる条件によつて成立しているかをみるゝことがまづ大切であらう。

周辺に農業聚落をもち、また四五%の農業人口をもつに至つた本市としては、農業問題は大きな地位を占めている。

本市の耕地面積二、八八〇町歩に及ぶ栽培作物の主体は、概ね米麦または甘藷を主体とする比較的單純な主穀中心農業である。

このため、昭和二十八年は異常氣象に災いされ、その弱休性をさらけ出したが、今後とも予想される經濟惡条件を考へる時には、是非ともそれに耐え得るような抵抗力のある、より高度の多角綜合的、農業經營を確立する必要があるだろう。旧冬以来、統計調査員の協力を煩した農業冬期調査の結果がまとまつたので、これを基として市の農業を裸にしてみよう。

農家人口及び農業従事者

農家人口一六、〇〇〇人に対し、そのうち農業従事者は七六〇〇人である。農業従事者一〇〇人に対し一一人は非労働者と他産業従事者になりまた保有米の寄食者である。昭和二十七年をこれに比べると、農業従事者一〇〇人に対する零細性は、農民の宿命といわれるが、農業経営を展開し得ず、これら零細農家の家族である二、三男、女子は、県内外に転出しているようだ。

作 付 率

耕地利用度は、総耕地面積二八七九町に對し、作付総面積三、八三四町で一三三%（全國一三三%、関東一四〇%、本県一三三%）耕地利用率は田一〇二%、畑一八八%、総耕地一五二%となつてゐる。これらを分析すると、水田の大部分は濕田のままで、畑は比較的やせた洪積台地で、次のようである。

農 業 經 済

「県資料」就業人口一人当りの昭和二十六年の生産所得は次のようである。

四八千円

代表者供出制度とは

本県では二月一日から代表者供出制度を実施しています。代表者供出制度とは、生産者が代表者を選んで、その者に供出を依頼するので、自分の名をだれにも知られない。

時に支払われる。
◇この制度による供出は課税の対象にならない。
右のように、農家の皆さんが最も供出しやすい仕組として、代表者供出制度が、用いられています。

林業	二四千円
漁業	一〇〇〇〇
鉦業	五九八〇
建設業	七九〇〇
製造業	一五八〇
商業	九一〇〇
金融業	二二九〇
運輸業	一八七〇
サービス業	一一五〇
公務	一一二〇

農業の後進性は土地条件の劣悪に由来するもので、その主なものは用排水施設の不備による湿田の多いことと、畑は洪積台地の傾斜による土の多いことであらう。

これらを土地の整備（土地改良、区画整理、集団化）により利用の高度化及び農業経営の多角化の方向に向うことが、実質的な発展方策ではあるまいか。

石岡市報にのぞむ

一、市議会の議事内容をそのまゝ(速記録)でのせてほしい。
二、市民文藝欄がほしい。
三、市報を楽しく明るいものにするためレクリエーション的クイズなどの等をせたい。
四、うきよ往来をやめ、かわりに市長その他の選良の市政に対する反省や抱負等を逐次のせてほしい。(守木町市民)
一、市民重大関心事の市長、市議選挙の特集版を作り市民の声を広く募集してほしい。
(市内一主婦、ほか)

無料て投書箱に入れる意見は無責任なものが多くなる。愛は精神や生活向上を願う熱意は、五匹、八匹の負担を惜しまない。(花野咲子)

再び「愛の灯基金」に

私の提唱に対する一主婦さんから寄せられた御意見(二月号)に感謝しながら更に私の考えを申上りて市民の皆様との御協力により是非実現するよう祈つてやみません。

一、形を變えた税金ということですが、決して強制するものではありません。強制は愛の根本に反します。

二、官制事業となり、壓迫を感ずると申されますが献金箱を廻すだけで入れる入れないはその人の心次第であり、主観はあく迄愛の心ですから、官制云々は別問題です。

三、生活の苦しい根本原因について仰言られることは政治のこと、これに対する努

出山	邦	二女	本川	良女
根	滿義	長男	色川	昌之
市太郎	三男	櫻井	源	
六之助	四男	新田	好信	
秀親	二女	岡野	下子	毛子
鹿ノ子	貢	二男	吉田	光司
宮部	榮	長女	櫻村	洋子
染谷	義男	長男	岡	敏二
高浜	操	長女	恆男	惠子
滿佐夫	長男	恆男	孝一	
辰夫	二男	貝塚	利則	
東大橋	百	藤枝	成樹	
孝	長男	藤岡	孝男	
東田中	富夫	長女	鈴木加壽子	
小井戸	靖	長男	井坂	惠一
三村	喜代治	二女	小林加代子	
昌三	長男	細谷	弘道	
章	長女	齊藤	房枝	
忠次郎	長男	森	修一	
憲一	二女	田上	敏江	
男	長男	直井	志雄	
通夫	二男	直井	隆成	
積	長女	原田	良子	
正志	四女	砂山	末子	
敏男	三女	菅谷	紀子	
守	二男	津賀	保藏	

寫スナツブ眞

(一)衆院議員選舉(最高裁國民
審査)才一投票所(公民館)

ユツクリ組が多いのではな
いかの予想は全く違い正午に
は五割強の好投票率午後はダ
レ氣味で結局メ切には八割弱

(三)オ八回土浦一日立間駅伝競争　朝からの雨で悪コンディション、石岡中継所（石岡郵便局前）の中継時は降雨の最中、某選手は中継を降り、雪中着替と足温

公民館床下げ工事

には、是

幸町	久郎	長男	内木	亮金
三郎	長男	大和川勇造		
晉	二女	平松登志子		
章二	長男	川崎	敏朗	
平之丞	長女	上田	恵子	
守夫	“	幕内	榮子	

九	分丸木			
藤木	高木	遠小	島	
田村	和利	藤沼	田	
孝	き藤	昌う	智	藤
子	た郎	江	ら子	之助
七	四	七	七	七
三	六	〇	四	五

たが当の本人、荷物を持つて雲隠れ、婦人会に着替を貸上され、ヤレヤレといった話もあった。

市公民館は、聴衆席が水平で後部席からはステージの透し
が不完全であつたので、この

題字を公募した処、応募点十七点に達しました。

要之助	三男	岡野	和男
文好	長女	大森	壽子
光男	田村	嘉津子	
四郎	山本	和枝	

小笠原
新田康
新田芳
新田五
新田三
新田三

で約三尺五寸低くなり、一時館の使用を中止している。

一等 国分町 金子 善江

要三	分	町	茶
二女小治	省市	德太郎	利雄
智子	長女	水谷けい子	船見 節子
	勝野 宏子		
			茂夫 二女 金敷 智子

須賀田	田崎	久保川	森戸	信田
美政	義五	孝太郎	義治	屋壽
六三	五三	七一	五七	七六

石川小学校に
図書館

国分町 栗原 彦一
仲町 屋口 正一
お、次号から新しい題字を
います。

丸	博	義明	憲政	喜代次	橫
長男	長男	二男	長男	二女	
栗原	前島	大垣	和夫	石塚	京子

三村	高松	岩瀬
原高	高松	岩瀬
田田	野塚	潮
良市	三郎	吉子
子博	郎	吉子
四〇	七八	二五

では、寄附により、工費十五万円、一〇・五坪の図書館を新設した。

大往來

田	恒雄	佐平	弘	寅松
二男	二男	二女	三男	三男
山内	平野	木村	中山	小池
浩二	榮子	孝子	榮二	陽

石
川
原川岩矢清
田口瀬口水
か光ふき
久ね太郎さ子
七四六
〇九八九二

市賞者、幸是生、賞者、市

二月分

島良光
三女 菱沼美代子
二男 本田 泰則

中飯梨
山田嶋
と直正
め太郎道
六八四
三二一